

公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団について

公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団は、平成7年に鳥取県と米子市が1億5千万円ずつ出資して作られた財団です。平成7年の米子水鳥公園開園から米子水鳥公園の管理・運営を受託してきました。

米子水鳥公園の管理だけでなく、取りまく調査研究・普及啓発・国際交流を行い情報発信に努めている。

公益法人制度改革に関連して、当財団は平成25年度から公益財団法人に移行しました。

設立	平成7年3月20日
基本財産	301,000千円 (米子市150,000千円, 鳥取県150,000千円, その他1,000千円)
運用方法	鳥取県債10年債で運用(利率年0.40%、受取利息年1,200千円)
代表者名	理事長 伊澤 勇人(平成29年6月より) 職員7名 理事5名 評議員4名 監事2名
所在地	〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665 電話 0859-24-6139 FAX 0859-24-6140 E-mail info@yonago-mizutori.com

(1) 公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団の設立目的

この法人は、野生鳥類とそれを取りまく自然環境に対する理解を深める機会を提供するとともに、「鳥」をテーマとした環日本海国際交流を推進することにより、もって人と自然の共生する地域づくりに寄与することを目的とする。

※出典：公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団定款 第2章第3条

(2) 公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団の事業

- (1) 野生鳥類とそれを取りまく調査研究に関すること。
- (2) 鳥を取りまく自然環境等についての知識の普及啓発及び情報発信に関すること。
- (3) 米子水鳥公園の管理運営業務の受託に関すること。
- (4) 「鳥」をテーマとした環日本海国際交流の推進に関すること。
- (5) その他前条の目的を達成するために必要な事業。

※出典：公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団定款 第2章第4条

(3) 財団予算規模(平成29年度)

予算 49,014千円(うち米子市からの指定管理料 41,152千円)

※他受託先 環境省・鳥取県・島根県・公益財団など

(4) 担当課

米子市市民生活部環境政策課

〒683-0852 鳥取県米子市河崎 3280 番地 1

(米子市クリーンセンター内)

電話/0859-23-5256 ファクシミリ/0859-23-5258

Eメール/ kankyoseisaku@city.yonago.lg.jp

鳥取県生活環境部くらし安心局水環境保全課

〒680-8570 鳥取市東町 1 丁目 220

電話/0857-26-7197 ファクシミリ/0857-26-8194

Eメール/ mizukankyohozen@pref.tottori.lg.jp

(5) 受賞歴

中海水鳥国際交流基金財団:環境功労者大臣表彰(平成 23 年)

ジュニアレンジャークラブ:野生動物保護功労者表彰(平成 29 年)

(6) 公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団の経歴

平成 7 年 3 月	財団法人中海水鳥国際交流基金財団設立
平成 7 年 4 月	米子市から米子水鳥公園の管理を受託
平成 7 年 10 月	米子水鳥公園オープン。開園記念探鳥会を実施。
平成 8 年 1 月	第 1 回水鳥の絵と作文コンクール実施 (以後、毎年開催。 平成 18 年度からは米子水鳥公園絵画コンクールに改称)
平成 9 年 3 月	発信機によるコハクチョウの渡りルート調査実施
平成 11 年 1 月	日本白鳥の会全国大会開催 (米子コンベンションセンター)
平成 11 年 5 月	東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワークに加入 第 1 回子ども野鳥クラブ開催 (以後、毎年開催。平成 18 年度からは子どもラムサールクラブと改称)
平成 11 年 8 月	日本鳥類標識協会のロシアのカチヤッカ調査に神谷指導員が参加
平成 11 年 9 月	日本鳥類標識協会米子大会開催 (米子コンベンションセンター)
平成 11 年 11 月	彦名・水鳥ふれあいウォーキング大会開催 (以後毎年開催)
平成 12 年 10 月	鳥取県西部地震発生。米子水鳥公園の施設に大きな被害を 受け、平成 12 年末日まで休園。事務所を旧米子市役所庁 舎へ移設。 米子水鳥公園ホームページ開設
平成 12 年 12 月	密猟対策連絡会全国大会 (夢みなとタワー) に協力
平成 13 年 1 月	元旦から再開園。園内に仮設の事務所と観察舎を開設。
平成 13 年 3 月	ロシアの鳥類学者ウラジミール博士を米子に招へい。講演 会や鳥類の共同調査を行う。

- 平成 13 年 7 月 ロシアのウラジミール博士と共同で、ロシア・レナ川デルタ地帯でコハクチョウの標識調査実施。
- 平成 13 年 10 月 ネイチャーセンター再開館
- 平成 14 年 7 月 神谷指導員が東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク・国内コーディネーター着任
- 平成 14 年 11 月 国民文化祭「鳥のフェスティバル」に協力。鳥取県と共催で、第 57 回全国野鳥保護の集いイベント「環日本会野鳥フォーラム」開催(鳥取県立武道館)
- 平成 15 年 1 月 米子水鳥公園友の会会員と共に、韓国・チョンス湾を訪問。韓国との初めての交流事業を実施。
- 平成 15 年 11 月 韓国との水鳥湿地交流を行い、東アジア・シベリア地域ガンカモ類シンポジウム 2003(韓国)で研究発表を行う。
- 平成 16 年 11 月 ロシアの鳥類学者アレクサンダー博士夫妻、エフゲニー博士、日本雁を保護する会の池内俊雄氏を招へいし、国際交流講演会を開催。
- 平成 17 年 4 月 環境省グリーンカー事業国指定中海鳥獣保護区におけるカワウの生息状況調査を受託(平成 17 年以降、平成 19 年を除き平成 26 年まで実施)。
滋賀県立琵琶湖研究所受託研究「鳥類による水生植物の運搬機能解析」(平成 17~19 年度)受託。
- 平成 17 年 8 月 財団 10 周年記念シンポジウム「水鳥だけではないラムサール条約」開催(米子市文化ホール)
水草研究会第 27 回全国集会開催(米子市文化ホール)
- 平成 17 年 10 月 開園 10 周年。記念式典開催。
- 平成 17 年 11 月 第 9 回ラムサール条約締約国会議(ウガンダ)に米子の高校生を連れて参加。第 1 回 KODOMO ラムサールに参加。
- 平成 17 年 12 月 ラムサール条約登録報告会に高円宮妃殿下を招へい。
米子水鳥公園の指定管理者に選定され、平成 18 年 4 月 1 日~平成 22 年 3 月 31 日の期間、米子水鳥公園の管理を米子市から受託。
- 平成 18 年 11 月 KODOMO ラムサール近畿・中国ブロック交流(米子市・平田市)に共催団体の一つとして参画。
ユリ・ケラシエフ博士を迎え、国際交流講演会を開催。
- 平成 19 年 7 月 日・中・韓子ども湿地交流 in 韓国・安山(韓国)に、地中海で活動している子ども 4 名を派遣。
- 平成 20 年 2 月 KODOMO ラムサール全国湿地交流<中海・宍道湖>(松江市)に共催団体の一つとして参画。
第 1 回「地中海の未来を子どもと語る会」開催(以後、平成

	24年度まで毎年開催)
平成 20 年 4 月	国際ウェットランドセンター・シンポジウム(韓国)に指導員が招待され、事例発表。
平成 20 年 10 月	第 10 回ラムサール条約締約国会議(韓国)にあわせて、「KODOMO ラムサール in 韓国」を豊岡市と共同開催。小学生 3 名を派遣。
平成 21 年 2 月	「豊岡 KODOMO ラムサール」(豊岡市)に協力。小学生 8 名を派遣。
平成 21 年 6 月	タカラハーモニストファンドから助成金を得て、中海へのコアマモの植栽に関する研究を実施。
平成 22 年 2 月	KODOMO バイタビリティ in 鴨池へ小学生 2 名を派遣
平成 22 年 4 月	米子水鳥公園ホームページをリニューアル
平成 22 年 7 月	国立科学博物館コラボ企画「恐竜は今も生きている！アロサウルスから水鳥まで」開催
平成 22 年 10 月	第 10 回生物多様性条約締約国会議のサイドイベントに子どもを派遣(名古屋市) 北東アジア子ども湿地交流会を開催。韓国・中海・宍道湖の子どもたちが交流。
平成 23 年 4 月	みどりの日自然環境功労者環境大臣表彰受賞(自然ふれあい部門)
平成 23 年 10 月	全国こどもラムサール湿地交流会開催 東アジア湿地交流会に子どもを派遣(韓国チャンウォン市)
平成 24 年 9 月	「南日本海子どもラムサール交流会 in 豊岡」に子どもラムサールクラブのメンバー 18 名が参加
平成 24 年 11 月	早朝開館に合わせて早朝特別解説開始(平成 26 年度まで) 野鳥まんが家の富士鷹なすび氏を講師に招き、野鳥まんが教室を開催
平成 25 年 3 月	公益財団法人に移行
平成 26 年 7 月	子どもラムサール湿地交流会として佐賀県佐賀市東与賀干潟の子どもたちと交流(佐賀県佐賀市)
平成 27 年 5 月	「第 1 回ユースラムサール交流会 in 藤前」に Jr. レンジャークラブの高校生 2 名が参加(愛知県名古屋市)
平成 27 年 6 月	今井印刷株式会社と共同で「米子水鳥公園の生態系と野鳥図鑑」発刊
平成 27 年 8 月	アジア子ども交流会を開催(米子港・米子食品会館・米子水鳥公園)
平成 27 年 10 月	開園 20 周年記念式典開催。開園 20 周年記念コハクチョウ観察会実施

- 平成 27 年 11 月 中海・宍道湖ラムサール条約登録 10 周年記念シンポジウムに協力(米子コンベンションセンター)
中海・宍道湖ラムサール条約登録 10 周年記念フェスタに協力(松江くにびきメッセ)
- 平成 27 年 12 月 「米子水鳥公園の生きものカルタ」制作
- 平成 28 年 8 月 「ラムサールシンポジウム in 中海・宍道湖 2016」を環境省・鳥取県・島根県・大山中海市長会・WIJ・RCJ と共同開催(米子全日空ホテル)
- 平成 28 年 9 月 鳥取・島根両県から子どもラムサール交流会を受託・実施して両県の小・中・高校生 4 名が参加(韓国・慶尚南道)